

# STIF 活動実績 2025年度 - NST教育人材育成活動・成果の水平展開

## IAEA: Regional Meeting on Enhancing Partnerships in the area of Education, Research and Training

マレーシア科学大学(ペナン)で、運用2年目を迎えたINSTA(国際原子力科学アカデミー)と22年目に入ったANENT(原子力技術教育のためのアジア地域ネットワーク)の合同運営委員会(委員計20名)がIAEAの主催で開催された。これらに加え、昨年第1回大会を開催したINSO(国際科学オリンピック)の3団体が、今後緊密に連携しつつ活動を展開することが全会一致で決まった。



2025年6月23日(月)-27日(金)飯本理事、高木理事  
東京大学で開催したINSTA TEWS 2025 JPNの成果やINSTA新Webサイトの開発状況を共有するなど、同会議に多くの貢献をした。

## IAEA: 2<sup>nd</sup> International Nuclear Science Olympiad (INSO 2025)

アジア太平洋地域14カ国(日本、バーレーン、マレーシア、モンゴル、シンガポール、オマーン、パキスタン、サウジアラビア、スリランカ、タイ、カタール、ヨルダン、フィリピン、シリア)が参加。各国代表は6名(専門家2名と国内予選会で選抜された20歳未満の生徒4名の編成)。出場者は理論試験5時間(70%)と実験試験3.5時間(30%)に挑み、出場者は各国代表として参加、最終的には個人として競う。出題としては日本の法定試験である原子炉主任者試験、核燃料取扱主任者試験、放射線取扱主任者試験のような内容。日本は選手4名全員がメダリスト(金1銀2銅1)に、また実験試験最高得点賞、最優秀女性選手賞を獲得。



2025年7月31日(木)-8月5日(火)飯本理事  
INSO運営委員会主催(IAEA共催)の第2回国際原子力科学オリンピック(マレーシア・バンギ開催)に、IAEA専門家として現地招聘された。